

5.4 大型コンテナ苗の導入に向けた検討

本事業では、大型コンテナ苗（樹高 90～100cm 程度の大苗）を低密度植栽することにより、下刈りの省力化を図り、合わせてシカ被害の低減につながるのかどうかの実証が望まれている。

そのため、今年度は、平成 28 年の夏以降、現地への導入（植栽）を目的に苗木の生産に着手した。スギ大型コンテナ苗の生産は、九州地域におけるスギ挿し木のコンテナ苗生産で実績を上げている宮崎県宮崎市の苗木生産者に依頼した。

平成 27 年 12 月時点では、コンテナ苗の平均的な大きさは根元径 0.9 cm、樹高 0.7m、形状比 0.77 程度（2 年生）に成長していて、平成 28 年夏以降には、実証に使用可能な大型コンテナ苗（樹高 90～100cm 程度の大苗）へと成長すると判断した。

下の写真は、平成 27 年 12 月時点の生産中の苗木の写真である。



写真 5.4 スギ大型コンテナ苗の試行的な生産状況（宮崎県宮崎市：平成 27 年 12 月）